

阿波曾蝸路トンネル外 1 トンネル 点検業務委託

特記仕様書

1. 適用範囲

- (1) この特記仕様書は、松阪市が実施する「令和4年度阿波曾蛸路トンネル外1トンネル点検業務委託」に適用する。
- (2) 本業務を履行する受託者は、下記の仕様書、要領及び本特記仕様書を遵守して作業を行うこと。

なお、下記仕様書等に明記されていない事項については、監督員と協議のうえ、決定する。

- ①三重県業務委託共通仕様書 最新版
- ②道路トンネル維持管理便覧 最新版 社団法人日本道路協会
- ③三重県トンネル定期点検要領（案） 最新版 三重県
- ④道路トンネル定期点検要領 最新版 国土交通省道路局
- ⑤総点検実施要領（案）【道路トンネル編】最新版 国土交通省
- ⑥附属物（標識、照明施設等）の点検要領 最新版 国土交通省道路局国道防災課
- ⑦トンネル換気設備・非常用施設点検・整備標準要領（案） 最新版 国土交通省総合政策局建設施工企画課
- ⑧農道保全対策の手引き 最新版 農林水産省

2. 業務目的

本業務は、別紙に示す松阪市が管理するトンネルの本体工並びに道路附属物等を対象として、近接目視、打音検査、触診等の詳細な点検等を実施し、第三者に被害を及ぼす可能性の高い変状及び取付け等の異常を把握し、第三者被害を未然に防止するとともに、トンネル維持管理計画等の作成につなげることを目的とする。

3. 業務内容

(1) 点検計画

1) 資料収集

点検対象トンネルの台帳、点検記録及び補修補強記録等を収集し、対象トンネルの過去の状況等について把握する。

また、点検対象トンネルの建設時の設計図書及び関係資料について収集する。

2) 現地踏査

効率的な点検計画を策定するため、点検対象のトンネル及び周辺を現地踏査し、周辺の地形地質、自然条件及び交通状況等について確認する。

3) 点検計画策定

点検対象トンネルの位置確認及び現地踏査等の結果に基づき、点検実施計画（方

法、時期、数量等）を策定し、監督員に提出する。詳細については、監督員と協議のうえ、決定するものとする。

なお、点検計画には点検時の安全を確保するための対策を含めるものとする。

4) 関係機関協議

点検計画に基づき占有物件の占有者及び交通管理者等の関係者との協議を行う。この際、協議に必要となる資料も併せて作成するものとする。

(2) 現地点検作業

点検方法について、以下に示す。

①近接目視点検

点検対象箇所に高所作業車等の足場設備を用いて、近接して、変状・取付け等の異常を目視観察し、点検記録表に記入する。

漏水箇所では、ストップウォッチやメスシリンダー等で1分間当たりの漏水量を測定する。

なお、覆工表面は排気ガス等で汚れている場合があり、必要に応じて清掃し、変状の把握に努めるものとする。

②打音検査

トンネル本体工ならびに道路附属物等の取付け金具類については、ハンマー等で打診し、うき・はく離・ゆるみ等の変状・取付け等の異常箇所の有無及び範囲を点検記録表に記入する。

この際、うき・はく離が確認された場合は、ハンマーで叩き落としが可能な範囲を叩き落とすこととする。また、濁音部はマーキング等を行い、その箇所を明確にし、日常点検時に確認できるようにしておく。

点検対象トンネルの「ひび割れ密度C (m/m²)」は、別添「トンネル一覧表」のとおりとするが、現地状況を踏まえ、変更協議の対象とする。

なお、ひび割れ密度Cとは、L 1（進行が認められるまたは新たなひび割れ延長）とa 1（ひび割れを囲む長方形部分の面積）とした場合、以下の計算式となる。

$$C = L\ 1 \div a\ 1$$

③触診

道路附属物のがたつき、天井板・内装板・附属物等を固定するアンカーボルトやナット等の取付け金具類の固定状況（ゆるみ等の有無）を点検記録表に記入する。

④路面点検

路面については、路面の変状の有無を把握して点検表に取りまとめる。

⑤合いマークの施工

今後の点検において、遠望目視等によりボルト・ナットのゆるみを確認できるようボルト、ナット、座金及びプレート部に連続したマーキング（以下、「合いマーク」という）を施工する。なお、合いマークは、視認性、耐久性に十分に配慮して施工するものとする。（「附属物（標識、照明施設等）の点検要領（案）付録－8 合いマークの施工」参照）

（３）点検記録表の作成

点検結果は、三重県トンネル定期点検要領における様式に記録する。

また、変状・取付け等の異常の状況が分かる写真を撮影し、写真番号を点検記録様式に記入する。

（４）点検結果に基づく対応方法の検討

点検結果で変状・取付け等の異常が発見された場合は、今後の対応方法、対応すべき時期及び概算費用についてとりまとめる。

（５）業務打合せ

業務実施に伴い、業務着手時、中間打合せ３回、成果品納入時の計５回打合せを実施するものとする。

なお、中間打合せは、現地点検実施前、現地点検実施後、点検結果に基づく対応方法の検討後の計３回を予定している。

（６）報告書作成

点検計画、現地点検作業、点検記録表の作成、点検結果に基づく対応方法の検討、業務打合せ等の内容を取りまとめ、報告書を作成する。

（７）その他

- ① 点検に必要となるトンネル台帳、道路台帳等の必要資料は監督員と協議の上、貸与する。
- ② 点検により交通規制（通行止め、片側交互通行、徐行）等が生じる場合は、所轄警察との協議が必要となることから、点検計画立案時に監督員と詳細に協議を行う。なお、交通管理については、別紙「安全対策について」を参照すること。
- ③ 点検実施日は、実施７日前までにあらかじめ監督員に報告する。
- ④ 点検時に緊急性を要する変状・取付け等の異常を確認した場合は、速やかに監督員と協議し、緊急措置を講じるものとする。
- ⑤ 他の点検業務（受注者）と相互に協力を行い、点検業務が円滑に実施できるようにすること。

4. 成果品の提出

(1) 業務報告書

2 部

(2) 関係機関協議資料

1 式

(3) 電子媒体 (CD-R)

・ 2 部

5. 疑義等

この特記仕様書等に定めていない場合及び疑義が生じた場合には、発注者と受注者とが協議して定めることとする。

別紙「安全対策等について」

1. 道路上の交通規制に伴う交通安全管理

受注者は、交通状況に即した適切な保安施設を設けるなどにより、安全管理に努めるものとする。

保安施設の設置にあたっては、「道路工事保安施設設置基準（案）」を基本とし、トンネル点検では、各トンネルの状況に応じて交通誘導員を設置する。

今回のトンネル点検では、昼間点検時は片側全面規制とし、1トンネル当たり交通誘導員3名（坑口に各1名、高所作業車周辺に1名）を配置とする。

なお、現地踏査や交通管理者協議等により、人数の変更等が生じた場合には、発注者と協議する。

2. 交通規制を行う際の事故防止対策

点検作業時に車線規制等を実施する場合は、一般交通車両による「もらい事故」防止対策として、作業員の安全確保に努めなければならない。

3. 沿道対策

本業務実施中、沿道の住民及び道路利用者より苦情等のあった場合には、受注者において丁寧に対応するものとし、その結果を発注者に報告するものとする。

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

NO. 1

明示項目	明示事項（条件及び内容）
ア 適用図書	<input checked="" type="checkbox"/> 設計業務等委託契約書 <input checked="" type="checkbox"/> 設計業務等共通仕様書（三重県）【令和3年11月制定】 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸構造物設計指針（三重県県土整備部港湾課）【 年 月制定】 <input type="checkbox"/> 自然に配慮した川づくりの手引き（案）（三重県県土整備部河川課） <input type="checkbox"/> 【 年 月制定】 <input type="checkbox"/> 砂防・急傾斜地崩壊防止工事・地すべり防止工事技術指針（案）（三重県県土整備部砂防課）【 年 月制定】 <input type="checkbox"/> 三重県景観計画【平成20年4月1日】 <input checked="" type="checkbox"/> その他（別紙、阿波曾蛸路トンネル外1トンネル点検業務委託特記仕様書（以下、「別添特記仕様書」という。）による。）
イ 業務計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 契約締結後14日以内に業務計画書（工程表）を監督員に提出する。 <input checked="" type="checkbox"/> 業務完了の10日前までに数量報告書（工種、設計数量、実施数量等を記載）を監督員に提出する。 <input checked="" type="checkbox"/> 業務日報は、監督員が提出を要求したときすみやかに提出する。 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ウ 成果の提出	<input checked="" type="checkbox"/> 本業務における成果品の提出部数は、（ <input checked="" type="checkbox"/> 2部（電子データ2部）とする。 <input type="checkbox"/> 指示する期日までに提出する成果品あり。（監督員が指示する資料） <input type="checkbox"/> 成果品の大きさについてはA版を原則とし、監督員が協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 <input type="checkbox"/> 電子記憶媒体で提出すること。ただし、その仕様等については三重県CALS電子納品運用マニュアル（案）によるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> その他（本成果の電子媒体について2部提出すること。なおCAD形式については、jww、dxf、p21とする。）
エ 工程関係	<input type="checkbox"/> 別途業務との工程調整の必要あり（別途業務名 ） <input checked="" type="checkbox"/> 関係機関との協議の必要あり（別途資料作成あり） <input type="checkbox"/> その他（ ）
オ 管理技術者の要件	管理技術者は、（ <input type="checkbox"/> 下記の者 <input checked="" type="checkbox"/> 下記のいずれかの者）とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 技術士 （ <input checked="" type="checkbox"/> 建設部門トンネル科目 <input type="checkbox"/> 部門・科目を問わない） <input checked="" type="checkbox"/> 上記の技術士と同等の能力と経験を有する技術者（技術管理者） <input checked="" type="checkbox"/> RCCMの資格保持者（トンネル部門） <input type="checkbox"/> 受注者の責任において定めた、業務の履行に必要な知識と経験を有する者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（過去において、管理技術者として同種業務の実績を有する者）

（注）

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、甲（発注者）と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

NO. 2

明示項目		明示事項（条件及び内容）
カ	照査技術者	<input type="checkbox"/> 概略・予備・詳細設計等又は、基本・細部・実施設計等については、照査技術者を定めなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 次の業務には、照査技術者を定めなければならない。 （業務全般）
	照査技術者の要件	照査技術者は、（ <input checked="" type="checkbox"/> 下記の者 <input type="checkbox"/> 下記のいずれかの者）とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 技術士 （建設部門トンネル科目） <input checked="" type="checkbox"/> 上記の技術士と同等の能力と経験を有する技術者（技術管理者） <input checked="" type="checkbox"/> R C C Mの資格保持者（トンネル部門） <input type="checkbox"/> 受注者の責任において定めた、業務の履行に必要な知識と経験を有する者 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	照査の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 照査は下記も含めて実施し、これに基づいて作成した資料は照査報告書に含めて提出しなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 詳細設計照査要領（（代）中部建設協会発行） <input type="checkbox"/> 設計業務照査の手引書（三重県農林水産商工部農業基盤整備課） <input type="checkbox"/> その他（ ）
キ	打合せ等	<input checked="" type="checkbox"/> 設計業務等着手時及び成果品納入時（成果品案の打合せ時を含む）及び設計図書で定める業務の区切りにおける打合せには、管理技術者が出席するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 照査技術者による照査が定められている場合は以下のとおりとする。 設計業務着手時及び成果品納入時（成果品案の打合せ時を含む）における打合せには、照査技術者も出席するものとする。
ク	資料の貸与	<input checked="" type="checkbox"/> 甲の貸与する資料は、次のとおりとする。 （別途協議）
ケ	業務条件	<input checked="" type="checkbox"/> 業務条件は別添特記仕様書のとおりとする。
コ	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 成果品の中で他の文献、資料等を引用した場合出典名及び発行年月を報告書に明記すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第10号）を受けた場合の措置について (1)受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第8号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2)(1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。 (3)受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

（注）

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、甲（発注者）と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。